

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】日本および韓国肝胆膵外科学会による日韓共同研究プロジェクト：原発性肝細胞癌に対する開腹左葉切除術および完全腹腔鏡下左葉切除術の比較検討

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科

【研究責任者】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 助教 坂元克考

【研究代表者】

関西医科大学附属病院 外科 診療教授 海堀昌樹

【研究の目的】

過去に受診された原発性肝細胞癌に対して肝左葉切除術を受けた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法や有効性を評価し、最適な術式を調査する研究を行うことといたしました。この研究は日本及び韓国での肝細胞癌の患者さんにおける有効な術式の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）当院において2013年1月1日から2017年12月31日の過去5年間に肝細胞癌切除された患者さん

（利用するカルテ情報）：診断名、年齢、性別、手術時因子（出血量、手術時間、輸血率等）、術後合併症発生率等

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、CD-R に保存した症例報告ファイルを記録郵便（レターパック）することによって関西医科大学に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

**【個人情報の取り扱い】**

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

**<試料・情報の管理責任者>**

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327